



コスモスさいなみ敬老会
記念品の贈呈

医療、介護、福祉を通して社会貢献を
目指すコスモスグループ広報誌

コスモス通信

編集・発行：医療法人コスモス
〒381-2212 長野市小島田町 380 番地

第 27 号

平成 30 年 10 月 15 日発行
TEL 026-285-2654 <http://cosmosnet.or.jp>

コスモスも創設以来 23 年を経過し創業者夫妻も高齢となり何かと職員に迷惑をかける状態となりましたが勤務して頂ける諸先生方、事務部長をはじめ各部署の責任者がコスモスの理念を守りながらしっかりサポートしてくれているのでコスモスグループは健全に地域の高齢者介護ができています。

今年は新しく廣島靖子先生、坂口博美先生をおむかえすることができ今まで勤務して頂いている安川浩司先生と共に、この 3 人の常勤医師により一層医療面では強くなりました。

安川先生は脳神経外科医、坂口先生は消化器外科医、廣島先生は健康診断に長く携わっておられ健康管理のエキスパートです。

10 月に入り秋風が身にしみるこの頃大型台風が日本全土を荒していますが、幸いなことに北信濃の被害はほとんどなくホッとしている所です。

一方感染症特にインフルエンザは今年は早くも発生し学級閉鎖をしている学校もあるようで、インフルエンザワクチン注射も例年より早く接種する必要があると思われ、インフルエンザ対策マニュアルにしたがってしっかり予防体制を整えなくてはならないと感じています。

巻頭言

介護とは愛をもって寄り添うこと 愛とは大切に思う人が喜んでくれる行為

医療法人コスモス
社会福祉法人ウエルフェアコスモス

私は循環器専門で大学名誉教授ですのほぼすべての臓器の疾患の診断治療がととのっていると思自負しています。私の妻は体調を崩していますが、眼科医であり経営者の夫妻が医師であることは医療業界では強みであると言われると思います。コスモスもまさにその通りだと思います。

その他嘱託医師として内科医の山口昭先生、山口文雄先生、荒木先生が勤務され、急患、診療なども手伝って頂いています。

更に娘婿の清水剛一先生が在宅クリニックを運営し、コスモスを退所した方のフォローもしていますので、コスモスの医療体制は充実していると確信しています。

更に長男の清水剛は心臓血管外科医の専門医で松代病院に勤務しておりですが週に一度来て診察とコスモスの運営に関与してくれています。

これから少子高齢化社会となつてまいります、人手不足が問題となっています。この対策として一つは前期高齢者が後期高齢者を支える体制作りも一つと思っています。

私がこの事業を始めたのは大学教授を定年でやめた 63 歳の時からで、今まで 20 数年間働いてきています。

私は循環器専門で大学名誉教授ですのほぼすべての臓器の疾患の診断治療がととのっていると思自負しています。私の妻は体調を崩していますが、眼科医であり経営者の夫妻が医師であることは医療業界では強みであると言われると思います。コスモスもまさにその通りだと思います。

その他嘱託医師として内科医の山口昭先生、山口文雄先生、荒木先生が勤務され、急患、診療なども手伝って頂いています。

更に娘婿の清水剛一先生が在宅クリニックを運営し、コスモスを退所した方のフォローもしていますので、コスモスの医療体制は充実していると確信しています。

更に長男の清水剛は心臓血管外科医の専門医で松代病院に勤務しておりですが週に一度来て診察とコスモスの運営に関与してくれています。

これから少子高齢化社会となつてまいります、人手不足が問題となっています。この対策として一つは前期高齢者が後期高齢者を支える体制作りも一つと思っています。

私がこの事業を始めたのは大学教授を定年でやめた 63 歳の時からで、今まで 20 数年間働いてきています。

コスモスグループ 各施設の詳細はホームページをご覧ください <http://cosmosnet.or.jp>

本部・小島田地区
クリニックコスモス長野
介護老人保健施設コスモス長野
介護老人保健施設コスモスさいなみ
コスモス長野通所リハビリテーション
クリニックコスモス長野通所リハビリテーション
コスモスさいなみ通所リハビリテーション
コスモス長野デイサービスセンター
コスモスさいなみデイサービスセンター
グループホームコスモス長野
グループホームコスモスさいなみ
短期入所生活介護事業所コスモス
住宅型有料老人ホームコスモスさいなみ
居宅介護支援事業所コスモス
地域包括支援センターコスモス
訪問看護ステーションコスモス

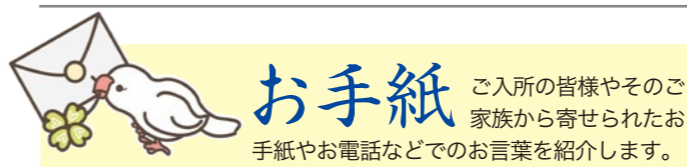
ヘルパーステーションコスモス
小規模多機能型居宅介護事業所コスモスホーム
巡回訪問 24 コスモス
福祉用具レンタルコスモスプラネット
介護用品販売コスモスポールスター
保育所たんぽぽ

篠ノ井地区
介護付有料老人ホームコスモスプラネット篠ノ井
コスモスプラネット篠ノ井デイサービスセンター
グループホームコスモスプラネット篠ノ井
居宅介護支援事業所コスモスプラネット篠ノ井

安茂里・若里地区
コスモス在宅クリニック
地域密着型介護老人福祉施設コスモス苑

介護付有料老人ホームコスモスあもり
ウエルフェアコスモスあもりデイサービスセンター
グループホームコスモスあもり
グループホームウエルフェアあもり
居宅介護支援事業所ウエルフェアコスモス
サービス付き高齢者向け住宅コスモスプラネットあもり
巡回訪問 24 コスモスあもり

松川町
クリニックコスモス松川
介護付有料老人ホームコスモス松川
コスモス松川デイサービスセンター
グループホームコスモス松川
居宅介護支援事業所コスモス松川



お手紙

ご入所の皆様やそのご家族から寄せられたお手紙やお電話などのお言葉を紹介します。

介護老人保健施設コスモスさいなみ入所棟 2 F
ご入所者様より

この施設を選んでくれた息子にとっても感謝している。
みなさんはとても良くしてくれるし、こんな何もない私なんかの話も聞いてくれる。
今日の麺もとても美味しくて全部食べちゃったよ。病院では全然食べられなくて、どうしちゃったもんかなあと思ってたんだよ。だけど、ここに帰ってきたら全部食べちゃったよ。目のお薬も看護師さんがやってくれて、本当に良い所に来たと知っているんだよ。幸せだよ。ありがとね。

編集後記
今年も医療・福祉機器展が開催され、慢性的な人手不足を解消するための技術革新や様々なアイデア商品が並んでいる。また、より良い介護を目指して、情報を共有する方法も進化している。この情報を共有する上で大前提となる事が『目的の共有』であることは忘れがちです。さて、『想い』を共有できる仲間たちと不条理や困難も乗り越えて頑張っていきましょう！
(田中剛)

地域密着型介護老人福祉施設コスモス苑
ご入居者のご家族様より

入居して、1 年ほど経ちました。
コスモス苑に入居したての時に職員さんから「お母様が笑うことを忘れないように、いつでも笑っていただける環境を作っていきます」と言われました。
入居するまでは、介護に追われ、食べる、オムツを換える、寝かせる。だけを必死にやってきて、母が笑うという事を忘れていました。『母が笑って暮らす』という人として当たり前生活を提示してくれて、とても嬉しかったです。そして、今日もいい笑顔をしていました。ありがとうございます。

介護老人保健施設コスモスさいなみショートステイ
ご利用者のご家族様より

前回のショートステイ後、職員の名前と声も覚えていて「友達ができた」と大喜びで帰ってきました。夕食の話題として、夫が母とショートステイの話ができた事をとても喜んでいました。
最初は嫌々だったショートステイですが、今は喜んで出かけています。

◆◆◆ 医療法人コスモス 医師担当表 ◆◆◆

	午前（9：00～12：00）			午後（13：00～18：00）		
	クリニック コスモス長野 病院・外来・訪問診療	老健・コスモス 長野	老健・コスモス さいなみ	クリニック コスモス長野 病院・外来・訪問診療	老健・コスモス 長野	老健・コスモス さいなみ
月	清水健院長 荒木仲 安川浩司 坂口博美	清水健院長 安川浩司 坂口博美	清水節子施設長 山口文雄 廣島靖子	清水健院長 荒木仲 安川浩司 坂口博美	清水健院長 安川浩司 坂口博美	清水節子施設長 廣島靖子
火	清水健院長 荒木仲 安川浩司 坂口博美	清水健院長 山口昭 安川浩司 坂口博美	清水節子施設長 廣島靖子	清水健院長 荒木仲 安川浩司 坂口博美	清水健院長 安川浩司 坂口博美	清水節子施設長 廣島靖子
水	清水健院長 荒木仲 坂口博美	清水健院長 山口昭 坂口博美	清水節子施設長 山口文雄	清水健院長 荒木仲 清水剛 安川浩司	清水健院長 安川浩司 坂口博美	清水節子施設長 清水剛
木	清水健院長 荒木仲 安川浩司	清水健院長 安川浩司 坂口博美	清水節子施設長 廣島靖子	清水健院長 荒木仲 安川浩司	清水健院長 安川浩司 坂口博美	清水節子施設長 廣島靖子
金	清水健院長 荒木仲 安川浩司 坂口博美	清水健院長 安川浩司 坂口博美	清水節子施設長 山口文雄 廣島靖子	清水健院長 荒木仲 安川浩司 坂口博美	清水健院長 安川浩司 坂口博美	清水節子施設長 廣島靖子
土	清水健院長	清水健院長	清水節子施設長	清水健院長	清水健院長	清水節子施設長

受賞者名	卒業回期	現職等	受賞内容
清水 健	高校第3回	医療法人「コスモス」理事長	心臓外科医が、84歳にして文学書「ゴッドハンド愛の誓い」を出版。
柳澤 昭雄	高校第4回	前東京銀行取締役 社長	「英熟語基本は中学2年で会得しなさい」を執筆し、380部を付属中学生に贈呈。
山本 直哉	高校第7回	元高校教諭	「松花江を越えて」が、文芸創作部門で全国「ふるさと自費出版大賞」受賞
児島 保彦	高校第8回	経営コンサルタント	「儲かる会社は人が1割、仕組みが9割」が話題を呼ぶ。
天野 良彦	高校第30回	信州大学工学系長に選任	平成30年4月1日から3年間
宮本 真司	高校第31回	厚生労働省、医薬生活衛生局長	中央官庁局長に昇進。
山本 臣也	高校第43回	屋代高校教諭	ハンドボール部、10年ぶりの男女揃ってのインターハイ出場に導く。
松村 大樹	高校第47回	日本原子力開発機構研究員	「第14回屋高フォーラム」で原発事故によるセシウム除去に関する研究成果を発表。
前田 理	高校第50回	北大教授（理論化学分野）	37歳で北大教授に就任。
在校生（3年7組）石河峻典・風間勇悟・田中優亮・堀内皓斗			第61回県学生科学賞で「イカダモのミジンコ及び糖による影響」が知事賞受賞。
在校生（2年3組）伊藤誠悟			スピードスケート1500m・5000mでインターハイ出場。

「ゴッドハンド愛の誓い」出版
平成27年、自身の半生記でもある「ゴッドハンド愛の誓い」を出版し、多くの反響が寄せられています。



元信州大学教育学部講師
北澤勝親氏からのお手紙
Dr 清水の「ゴッドハンド愛の誓い」をよんで非常な驚きと喜びに満たされました。私の探していた医師に巡り会ったこと。そして清水医師の奥さんとの愛の物語は私にとって大きなインパクトでした。こんなすこいお医者さんがいるとは本当に驚きました。
「人生の中で何が幸せであるかを考えて見ると、それは（人を愛すること）であると思う。若いときは、愛の目標は異性に向けられる。しかし年を重ねるにつれて、次第に周囲に向けられていく。…愛とは、大切に思う人が喜んでくれる行為である」と。（101頁～102頁）
この言葉を読んで私はドキッとした。「神は愛なり」とヨハネ第一の手紙4章16節にありますが、まさにドクター清水は神の愛の実践者です。旧約聖書の箴言5章18節には、「あなたの泉を祝福されたものとし、あなたの若い時の妻と喜びたのしめ。」とありますが、正常な結婚生活によって与えられる性的喜びは神から与えられた祝福であるということです。
武川謙三の中に脈々と流れる妻への愛の物語はまさに、キリスト教の愛を夫婦愛の中にあらわれた二人の生涯を描いたものですね。この本を読んで私は非常にシヨックを受け、その晩は興奮して一晩中寝られませんでした。今ベッドにいる90歳の私の妻も、いままで私の人生を支えてくれた妻であり、この世における最愛の人だからです。本当にありがとございました。

新施設紹介
サービス付き高齢者向け住宅
コスモスプラネット稲里
併設：デイサービスセンター
居宅介護支援事業所
訪問介護事業所

平成30年9月16日より、長野市稲里町中央1丁目1にコスモスプラネットでは4つ目の介護施設となる、『コスモスプラネット稲里』がオープンしました。
コスモスグループにとって2つ目となるサービス付き高齢者向け住宅を中心に、居宅介護支援事業所、通所介護事業所、訪問介護事業所の

コスモスグループの一員として頑張ります!!

サービス付き高齢者向け住宅は全12室。お買い物に便利な長野市稲里中央にあり、全てお部屋は南向きの個室。各お部屋にウォシュレット付きトイレと洗面、大型クローゼットがあり、各戸に空調も完備。

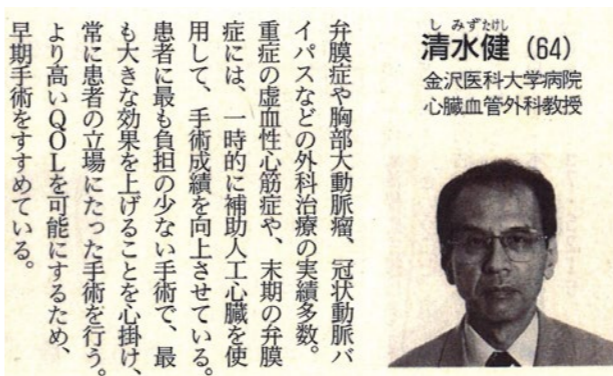
デイサービスセンターの定員は20名。長野市小島田の医療法人の40名定員と比較しても小規模で少人数が特徴。コスモスプラネットは軽度者中心の篠ノ井、重度者・在宅医療対象者中心のあもりに続き3つ目のデイサービスセンター。要支援から要介護2程度の方々に満足してご利用いただけるよう活動していきます。送迎エリアは更北・川中島・篠ノ井エリア。

金沢医科大学を定年で退職後、故郷の要望に応え医療法人コスモスを設立し、地域の福祉、医療、介護に貢献するために老人保健施設を立ち上げた清水健理事長の功績を改めて職員の皆様を紹介します。

清水健理事長の足跡

もう一つは外国人労働者の雇用も視野に入れていかなくはなりません。現在コスモスではフィリピンから二人の介護士が来て働いていますが、さらにベトナム、ミャンマーからの介護士の受け入れも考えていかなくはならないと思っています。
国内においても子育て支援をしながら働いて頂ける環境作りもしなくては

（経歴）
昭和32年 名古屋大学医学部卒業
昭和38年 アメリカ・デューク大学 胸部外科留学
昭和39年 アメリカ・ノースウェスタン大学 心臓外科留学
平成8年 医療法人コスモス設立
平成11年 金沢医科大学退任
平成23年 名誉教授就任
社会福祉法人ウエルフェア コスモス設立



日本の心臓外科医20人に選出
金沢医科大学病院心臓血管外科教授時代、日本の心臓外科医の20人の一人に選ばれ、1997年の健康月刊誌に掲載されました。当時の記事を再掲します。

なりません。現在施設内保育所を運営していますが、学童保育もやっていく必要があります。また主婦の方でも働いて頂けるワークシェアリングも取り入れていく考えです。
また、高齢の親を在宅で介護できる体制作りも必要で問題は山積しています。皆様の力を借りて一つひとつ解決していきましょう。

第2の人生の始まりです
医療法人コスモス 坂口博美先生

2005年の夏、16年前に亡くなった母親の臨終に立ち会えなかったことから父親の時は傍にいようと思い、半生を過ごした愛知県を離れ故郷に帰ってきました。その後、県人会（名古屋大学を卒業して長野県で働く医師の集まり）で清水理事長にお会いしました。びっくりしたことは理事長と私は同じ高校出身、同じ大学卒業、そして同じ医局に所属していたことでした。そのような縁で病院では主に消化器外科に携わる一方パートでコスモスに勤めていましたが、9月から病院の外科を卒業してコスモスに勤務することになりました。

現在は4歳と7歳の子育て中で趣味らしきものはないのですが、自動車を乗り回したり、宴会は大好きです。医者の人生の中で当施設での仕事は第二の人生の始まりとなります。
介護保険にまつわる諸々のことは、わからないことばかりでご迷惑をおかけすることと思いますがよろしく願います。

科に携わる一方パートでコスモスに勤めていましたが、9月から病院の外科を卒業してコスモスに勤務することになりました。

私は私の書いた小説「ゴッドハンド愛の誓い」の中で「愛とは大切に思う人が喜んでくれる行為である」と述べていますがこの二つを合わせたのが介護の本質であると悟りました。

ニューフェイス

地域に貢献したい



コスモスプラネット
福祉用具専門相談員
宮入 淳さん

平成30年6月から採用して頂き、福祉用具専門員として勤務しております。前職は福祉用具と全く異なる業界で働いておりました。福祉用具専門員になると決断したきっかけは、少子高齢化が進む中、高齢者のお役に立てるということに魅力を感じ決意しました。福祉業界で一からのスタートということ、分からない事がまだまだたくさんある中、

さんありますが、上司や福祉用具メーカーの方に優しく指導して頂き、日々勉強させて頂いております。施設内では、徐々に親しくさせて頂ける方が増え、とても恵まれた環境で仕事が出来ていると感じています。福祉用具専門相談員として勤務して日は浅いですが、目標があります。それは、「福祉用具を通じてたくさんの方の役に立てるように行動する」ということです。

まだまだ未熟ですが、積極的に行動したくさんの人から学び知識・経験を積んでいきたいと思います。そして地域・社会に貢献できる人間になりたいと思います。

勤続20年表彰



傘ともみさん

高校卒業後の平成9年4月入社。居室清掃を担当し、長年コスモスに貢献してこられた傘ともみさんに聞いてみました。
「表彰状をもらったときどんな気持ちでしたか？」
「仕事をずっと続けていたのであつという間に過ぎた20年でした。まだまだこれから、もっとがんばれようと思いました。」
「激動の中で思い出はありますか？」
「父親が人となり職員さんにかかわってもらいました。朝出勤してきたときにリハビリの職員と一緒にいた父が満面の笑みでVサイン

ンをしてくれたことが、とても印象深い思い出です。
「働いていてうれしかったことやできごとはありませんか？」
「お年寄りの方から感謝の言葉「ありがとう」を言われるととてもうれしいですね。多くの方と知り合いになれば、ささえてもらえています。」
「つづけられた理由は何ですか？」
「お年寄りが好きだから続けられています。コスモスにきてこの仕事に出会えても良かったと思っています。周りの皆さんに感謝しています。」
「入職時から思い出して自分に何と言っておけますか？」
「がんばったけど、まだまだがんばれるね！」
「多年にわたりコスモスの職員として、その職務に精励され情熱をもって日々のかかわりに努められた功績は慎に顕著であります。」

多種多芸 第12回

コスモススタッフの多彩な活動を紹介する「多種多芸」今回は今も野球に熱中する清滝佳彦さんの登場です。



野球

コスモス長野・相談員
清滝佳彦さん

野球の楽しさを伝えています
一応、甲子園を目指して厳しい練習と先輩からのしごきに耐え、野球の魅力に憑りつかれていた頃から20数年が過ぎました。
今では草野球からも引退をして、ナイターソフトボールの長野市のリーグで野球つばさを楽しんでいます。
自分で理想通りのプレーが出来なくなりつつある近頃は、小学5年の息子の少年野球に熱中しています。自分の子供の頃とは違い小学生に求めるレベルがかなり高く、実際に子供たちもその要求についてきていま

す。ですが根本の魅力に変わりはなく泣いて悔しがったり、親と一緒に嬉し泣きをして楽しい野球を味わわせてもらっています。
一時楽しさが分からなくなってしまう時、「おやじ達の甲子園」と呼ばれるマスターズ甲子園 長野予選で、自分やおなかの出たおやじ達が重たい体を動かして、当時の様に輝いた目で硬式野球をする姿を見せた事があります。若い頃の様に遠くへボールを投げられませんが、もう少しは息子と野球が出来そうです。これから野球の魅力を伝えていき、一緒に泣こうと思っています。

敬老会

今年もコスモスグループの各施設・事業所で盛大に敬老会が催され、大勢のお年寄りの皆さん、ご家族の皆様にご参加いただきました。
『敬老会』は施設や事業所ごと、あるいはグループホームやデイサービスなど、その事業所の種類によっても趣きが異なります。今回は、小島田にある二つの老人保健施設（コスモス長野・コスモスさいなみ）の『敬老会』の模様をお伝え致します。

～ご家族と一緒に祝い膳をいただきました～



敬老祝い御膳

ウナギの蒲焼
煮物 / 茶碗蒸し
お赤飯 / お吸い物



▲ご案内担当の相談員さん

▲給食部の皆様、早朝から本当にありがとう



▲ご家族と一緒に食事が出来る『特設会場』



▲ご家族も敬老の思いは一緒



▲医療法人コスモスグループ代表清水健先生からの心温まるメッセージ

老人保健施設 コスモス長野

平成30年9月9日（日）



敬老祝賀会

私達の敬愛の心

老人保健施設 コスモスさいなみ

平成30年9月2日（日）



▲お年寄りの皆様に『ありがとう』を伝えました

詩吟と日本舞踊の皆さま

～敬老会実行委員会～



『大役』本当にお疲れさまでした
右側 / 老健長野 酒井実行委員長
左側 / 老健さいなみ 櫻田実行委員長



▲ご家族の交流の場『小さな喫茶店』



東御市から来ていただいた 和太鼓演舞団の皆さま

老人保健施設では100人を超えるお年寄りとそのご家族が参加するため、『敬老会実行委員会』が開催の約半年前から編成されます。現場の介護士さん・看護師さんだけではなく、相談員・事務員・栄養士などすべての職種が加わり、当日までのタイムスケジュールが作られ、各役割が決定いたします。
また、老人保健施設は他の入居施設とは異なり、終身介護施設ではないため、『敬老会』の当日に入居している方にお祝いをするため、相談員とも綿密に打合せをしています。
また、普段は来所出来ない遠方からのご家族の方々がくつろぐことが出来る『小さな喫茶店』という交流スペースを設けるなど、細部にこだわった運営をしています。



▲マッスルツールの実演



▲最新リフトの展示

▶富士通ラボのブース。コミュニケーションロボットを展示

10月10～12日に東京ビックサイトで開催された国際福祉機器展に参加してきました。世界各国から企業や研究所など、約550の出展者が福祉機器の展示を行っていました。参加は無料で、一般の方も参加可能です。

福祉車両やベッド用品、コミュニケーション機器や介護食品などが展示されており、「最先端機器」としてVR（バーチャル・リアリティ）を使用したレクリエーション機器も紹介されていました。福祉機器の展示だけでなくセミナーなども同時開催されており、多くの人が参加していました。

数年前に参加した時と比べ、一般の方

も多く参加されており、徐々に色々なところで福祉用具への関心が高まってきたのではないかと感じました。そのようなかで医療・福祉に携わる者として、日々の関わりの中での評価に加え、福祉機器についての情報収集しておくことが、少しでもその人らしく、より良い生活を送っていただくための手助けの幅を広げることに繋がるのではないかと思います。

コスモスさいなみ
理学療法士
小島弓果



コスモスたせこホームにて、介護予防教室の一環として転倒予防教室が開催され20名あまりの参加がありました。前半は講義方式で、加齢に伴う身体的変化・精神的変化についての講義と質疑応答、後半は実際に体を動かすという事でストレッチや筋力強化を踏まえた体操2種類の実施。その後、参加者個人の具体的なメニューについての相談など行いました。

講習会 コスモスグループ 転倒予防教室

開催回数も多いこともあり、現在は日本救命学会普及員の宮下真紀子看護澄子看護師に講師をお願いしました。参加者が140名を超え、少しキウウキウウでしたが真剣に胸骨圧迫の実演経験をごなしていました。毎月9（きゅう）の付く日を講習会開催日としています。



▲専用の人形を使っての心臓マッサージ

参加された方の楽しそうに体を動かす姿を見ることができ、また公民館を拠点とした体操グループなどの紹介など交流の場にもなりとても有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。これを機に日頃から体を動かすきっかけになれば幸いです。

老健大会

第29回全国介護老人保健施設大会

埼玉県さいたま市 平成30年10月17日～19日

第29回全国介護老人保健施設大会が埼玉県で開催され、10月18日（木）にコスモスグループからも6人の職員が参加をさせていただきました。

全国介護老人保健施設大会（老健大会）は年に一度開催され、全国の介護老人保健施設が一同に集まり、それぞれの研究を持ち寄って情報交換・研鑽を重ねる場となっています。

コスモスグループでは、各部署による1年間の研究成果の中から3つの議題を精査し、老健大会で研究発表をさせていただきました。

「転倒・転落リスクフローチャートの導入について」
「個々に合わせた環境作り」
「一人で悩まないで大丈夫！」

これからもコスモスグループでは仲間と協力して研鑽に励み、地域に根ざした「より安心な医療と介護の連携」を目指して一意専心していきます。



◀今年の会場は埼玉県さいたま市



▲コスモスグループから参加したメンバー



▲▶研究成果発表の様子

「個々に合わせた環境作り」

短期入所生活介護事業所コスモス
「一人で悩まないで大丈夫！」
協力体制の素晴らしさをテーマに発表してきました。

今年度、当部署では人員不足が続きましたが、他部署からの協力体制で乗り越える事が出来ました。お互いの部署同士が不安なく業務に入れるよう、業務の平準化を図る事が出来ました。職員一同が日々感謝の中で働いています。発表後、職員さんの仲の良さと、暖かさが伝わる内容でしたと感想を頂きました。今後に生かしていきたいと思っています。

主任 竹内明日香

コスモス長野

「転倒・転落リスクフローチャートの導入について」

今回の全国老人保健施設大会にて事故防止委員会より「転倒・転落リスクフローチャートの導入について」をテーマとし、フローチャート導入の経緯を発表させて頂きました。

当施設の事故の件数や傾向を改めて分析でき、導入できたことは職員皆様のご協力があったからだ実感しています。本当にありがとうございました。今後も多職種と協働し、ご利用者様が安心・安全に生活できるように取り組みを続けていきたいです。

小林晴香

海沼和樹

展示会

第45回国際福祉機器展

東京ビッグサイト 平成30年10月10日～12日

研修会

コスモスグループ 救急救命講習会開催！ 仲間とともに学ぶこと

8月より全職員対象とした救命講習会が行われています。講習会内容は一次救命処置気道異物除去・心肺蘇生・AEDを用いた除細動を学び、実際のシミュレーションを実演を行う医療、福祉現場に従事する者として心得るべき内容を全体で学ぶことができます。

初回は日本赤十字救急法の短期講習として、コスモス苑に勤務される佐藤澄子看護師に講師をお願いしました。参加者が140名を超え、少しキウウキウウでしたが真剣に胸骨圧迫の実演経験をこなしていました。毎月9（きゅう）の付く日を講習会開催日としています。

今回、全国老人保健施設大会に参加させて頂きました。初めてのことで、参加経験のあるメンバーさんに色々教えていただきながら無事、終わることができました。

座長より「ひとつの課題が解決すると更に新たな課題が出てくる」とありましたが、次の課題はなんですか？と問われ「今を生きている利用者様に安心安全と満足を提供できるようチームで頑張りたい」と答えました。

チームメンバーが少ない中、みんなの協力があつて経験できたことに感謝しかありません。大会で得たことを現場で生かしていきたいと思っています。

酒井麻衣